

 ゆ う き 友 絆	生徒と教師の合い言葉 ～気づき、考え、実行する～ 裏磐梯中学校だより 令和4年10月号 https://kitashiohara.fcs.ed.jp 発行者：校長 斎藤 一範
--	---

一人ひとりが活躍した『友絆祭(ゆうきさい)』 大成功!!

10月16日(日)に本校文化祭「友絆祭」を開催しました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を制限しての開催となりましたが、たくさんの保護者やご家族の皆様、子どもたちの学習の成果をご覧いただくことができました。友絆祭の開催に向けて、子どもたちは、実行委員長、副実行委員長を中心に、限られた時間の中、試行錯誤しながら準備をし、一人でいくつもの役割をやり遂げてきました。当日の総合的な学習の時間の発表では、職業のことや地域のことについて、自分たちが学んだことや考えたことなどを、一人ひとりが自分の言葉でしっかりと表現することができました。また、学年発表では、生徒と教師が一緒になって企画を考え、創り上げたことが分かる内容でとても感動しました。子どもたちの笑顔に溢れた素晴らしい友絆祭で、子どもたちの成長を強く感じました。保護者の皆様にも多くのご声援をいただき、ありがとうございました。



防災教室 (森林環境学習)

10月4日(火)に防災教室を磐梯山噴火記念館で行いました。今年度も磐梯山噴火記念館 館長 佐藤 公 様に講師を務めていただき、「東日本大震災と気象災害」というテーマでご講話をいただきました。東日本大震災については、11年前のことですので、子どもたちにとってはあまり覚えていないことではないかと思います。佐藤館長さんの東日本大震災による津波被害や原子力災害についての詳しい説明に、子どもたちは真剣に耳を傾け、理解を深めることができました。また、磐梯山噴火記念館2階で開催されている企画展「東日本大震災から11年」も見学し、写真などを通して、震災の被害の大きさを肌で感じることができました。災害はいつ、どこで起きるかわかりません。災害が起きた時の行動を一人ひとりが真剣に考えるよい機会となりました。



バドミントン部 全会津新人大会での活躍

10月15日(土)に全会津中学校新人バドミントン大会が猪苗代町総合体育館(カメリーナ)で開催されました。バドミントン部は人数が少ない中ではありますが、常に礼儀正しく、元気よく練習することを大切に、地道な練習にも根気強く取り組み、着実に力をつけてきました。大会では、男子シングルスで柊木君が第2位となり、11月に郡山市で行われる県大会の出場権を獲得しました。おめでとうございます。惜しくも県大会へ駒を進めることができなかった選手も最後まで諦めず戦い抜きました。よく頑張りました。

今年度の新人大会も、陸上部・バドミントン部ともに県大会出場を果たすことができました。日々子どもたちの頑張りだけではなく、保護者の皆様のご支援・ご協力があることであると感じております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

